

人権問題相談窓口

女性に関する相談	電話番号・FAX番号
大野城市役所 人権女性政策課	TEL:580-1840 FAX:573-5380
大野城まどかびあ男女平等推進センター(総合相談)	TEL:586-4035 FAX:586-4031
ちくし女性ホットライン	TEL:513-7335
筑紫野警察署 生活安全課	TEL:929-0110(代表)
福岡県男女共同参画センター(あすばる相談室)	TEL:584-1266
福岡県配偶者暴力相談支援センター	TEL:711-9874(平日昼間) TEL:716-0424(夜間・土・日・祝日)
女性の人権ホットライン(法務局:全国共通)	TEL:0570-070-810
女性エンパワメントセンター福岡	TEL:050-1492-3911

子どもに関する相談	電話番号・FAX番号
大野城市役所 こども健康課(母子保健事業(療育事業含む))	TEL:580-1965 FAX:573-5380
子ども相談センター	TEL:585-2460 FAX:585-2470
子育て支援センターつつい(筒井保育所内)	TEL・FAX:573-8219
子育て支援センターみなみ(大野南保育所内)	TEL・FAX:571-3310
子ども情報センター	TEL:501-3339 FAX:501-3356
福岡県福岡児童相談所	TEL:586-0023 FAX:586-0044
子どもの人権110番(法務局・全国共通)	TEL:0120-007-110

高齢者に関する相談	電話番号・FAX番号
大野城市役所 介護サービス課(地域包括支援センター)	TEL:501-2306 FAX:584-5656
南在宅介護支援センター	TEL:589-2632 FAX:589-2631
中央在宅介護支援センター	TEL:595-6802 FAX:595-6844
北在宅介護支援センター	TEL:501-3838 FAX:501-3866
悠生園在宅介護支援センター	TEL:504-5858 FAX:504-5602
高齢者総合相談センター(シルバー110番)	TEL:584-3344

障がい者に関する相談	電話番号・FAX番号
大野城市役所 福祉課	TEL:580-1852 FAX:573-8083
大野城市社会福祉協議会	TEL:572-7700 FAX:593-5829
大野城市身体障害者福祉協会	TEL:581-8080 FAX:581-8132
つくしびあ	TEL:592-6800 FAX:592-6802
福岡県障害者更生相談所	TEL:586-1055 FAX:586-1065



HIV等に関する相談	電話番号
福岡県筑紫保健福祉環境事務所 性感染症(STD)ホットライン (エイズ相談・検査は毎週火曜日)	TEL:582-2522

外国人のための相談	電話番号・FAX番号
アジア女性センター	TEL:513-7333
福岡県国際交流センター こくさいひろば	TEL:725-9200 FAX:725-9206 メール:info@kokusaihiroba.or.jp
女性エンパワメントセンター福岡	TEL:050-1492-3911(多言語)

同和問題など人権全般に関する相談	電話番号・FAX番号
大野城市役所 人権女性政策課	TEL:580-1840 FAX:573-5380
大野城市社会福祉協議会(人権相談:毎月1回木曜日)	TEL:572-7700 FAX:593-5829
福岡法務局筑紫支局	TEL:922-2881 FAX:922-3342
福岡労働局雇用均等室	TEL:411-4894

放送に関する人権相談	電話番号・FAX番号
放送倫理・番組向上機構(BPO)	TEL:03-5212-7333 FAX:03-5212-7330

携帯電話等のフィルタリングに関する相談	電話番号
docomoインフォメーションセンター	TEL:ドコモの携帯から⇒151(無料) 一般電話から⇒0120-800-000
auお客様サポート	TEL:auの携帯から⇒157(無料) 一般電話から⇒0077-7-111
ソフトバンクモバイルお客様センター	TEL:ソフトバンクの携帯から⇒157(無料) 一般電話から⇒0088-21-2000
ウィルコムサービスセンター	TEL:ウィルコムの携帯から⇒116(無料) 一般電話から⇒0120-921-156

編集後記

大野城市では、人権尊重のまちづくりのため、あらゆる機会を通じた人権教育・人権啓発に取り組んでいます。その一環として、この大野城市人権・同和問題啓発冊子「みんなのしあわせのために」を毎年度作成し、全戸に配布しています。

今回の冊子では、同和問題や子どもの人権に加え、平成23年3月に起きた東日本大震災を発端とした福島第一原子力発電所事故に関連した風評被害を取り上げました。みなさんも新たな人権問題について目を向け、考えていきましょう。

わたしたちの身の回りで起こるさまざまな出来事を「人権」という視点で考える機会は少ないかもしれませんが、この冊子を読んで、日常のいろいろな場面に潜む問題点について気づき、考えてもらうことにつながれば幸いです。

「みんなのしあわせのために」編集委員一同